

	卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 幼児教育者論 ナンバリング：2104	教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目		単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名： 持田京子、金子智昭 担当形態：クラス分け
科目／系列	教育の基礎的理解に関する科目／保育の本質・目的に関する科目			
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） ／保育者論			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育に関する関係法令や現代の社会的課題について学び、保育者の役割や社会的意義について理解できる。 2. 保育者の職務内容や専門性について理解し、保育者になるための自己課題とその解決方法を説明できる。 3. 子どもの育ちを促すうえで、保育者同士・保護者・専門機関・地域住民など様々な人々と協働することの重要性を理解できる。 				
<p>授業の概要</p> <p>幼児期は、人間形成の基礎がつけられる大切な時期であり、遊びや生活を通した幼児期の様々な体験は、子どもの豊かな感性を育て「生きる力」の土台となる。保育者は、このような人間発達の初期経験に携わる重要な役割を担っている。本講義では、保育を取り巻く社会的変化や課題を捉えたうえで、保育職の社会的意義、保育者の職務内容、保育者に求められる役割や資質能力等について理解を深める。さらに、進路選択に向けた自己課題を確立しそれに向けた解決方法を見出すことで、自己研鑽に励もうとする意欲的な姿勢を身につける。</p>				
<p>授業計画</p> <p>第1回：オリエンテーション —授業の進め方の説明、保育・保育者とは何か—</p> <p>第2回：保育者の使命と制度上の位置づけ —法令（教育基本法、学校教育法、児童福祉法など）、保育者の歴史と保育観の変化—</p> <p>第3回：保育者のサービスとマナー —サービス上の規準や倫理要綱、挨拶・言葉遣いなどのマナー—</p> <p>第4回：保育を取り巻く現状と課題 —統計資料から幼稚園・保育所・認定こども園の実態を読み解く—</p> <p>第5回：保育者の職務内容① —「保育者」の視点から1日の職務内容を捉える（映像）—</p> <p>第6回：保育者の職務内容② —「子ども」の視点から1日の園生活を捉える（映像）—</p> <p>第7回：保育者の資質と専門性①：子ども理解と対応 —子ども理解と即興的対応—</p> <p>第8回：保育者の資質と専門性②：遊びと保育環境の創造 —児童文化財の作成、保育環境の創造と工夫—</p> <p>第9回：保育者の資質と専門性③：保育計画の立案と実践 —指導計画、保育の循環（PDCAサイクル）—</p> <p>第10回：保育者の資質と専門性④：成長し続ける保育者 —職員間の協議と研修の重要性、反省的実践家としての保育者像—</p>			<p>授業時間外の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を熟読して授業に臨み、授業後は授業内容や自分の考えをノートにまとめて整理しておくこと。 ・図書館の資料、新聞、インターネットなどから、保育を取り巻く社会の現状や課題を調べてまとめること。 ・児童文化財の作成にあたって、その意義を考えること。また作成後は、優れた発表ができるように各自で練習を重ねておくこと。 ・近隣の小学校との連携授業では、各自が責任と自覚を持って教材準備に臨むこと。また交流後は、省察を通して自分の指導や子どもの言動を丁寧に振り返り、その際の気づきをまとめること。 ・本授業での学習内容を踏まえて、自分なりの理想の保育者像を持てるようにすること。 <p>予習・復習には1～2時間程度の時間が必要である。</p>	

<p>第11回：保育者の資質と専門性⑤：協働する保育者 ー子育て支援、専門機関や地域との連携、小学校との接続ー</p> <p>第12回：近隣の小学校との交流準備 ー指導計画の立案と教材準備、児童文化財の発表準備ー</p> <p>第13回：近隣の小学校との交流授業 ー小学生との交流授業、児童文化財の発表ー</p> <p>第14回：近隣の小学校との交流授業の振り返り ーグループで成果発表と協同討議ー</p> <p>第15回：授業のまとめ ー学習の振り返り、理想の保育者像、今後の自己課題と解決方法ー</p>			
<p>授業の方法 講義と演習、発表。課題やレポートにコメントを入れて返却する。</p>			
<p>テキスト</p> <p>『コンパクト版保育者養成シリーズ 保育者論』 矢田貝公昭編 一藝社</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>『幼稚園教育要領』（最新版）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版） 『保育所保育指針』（最新版）</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>作品・課題（50%）、レポート（25%）、受講態度等（25%）を判断して評価する。</p>			
<p>履修上の注意</p> <p>保育者を志す学生であることを常に意識し、主体的に授業に参加する。</p>			
実務経験の有無	有	実務経験	元幼稚園教諭、保育所巡回指導員
<p>実務経験を活かした教育内容</p> <p>幼稚園勤務、公立保育所、私立保育園の巡回指導員の経験を活かして、保育者に求められる基礎的な知識と技術、現代社会における保育者の課題、クラスづくりなどを学生が具体的に考え、実践、評価できる授業を行う。</p>			